

# 目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、該当ページまで移動します。**

<u>出席委員</u> . . . . .	2
<u>保健福祉課の予算審査</u> . . . . .	4
<u>子ども支援課の予算審査</u> . . . . .	19
<u>総括質疑及び現地調査箇所の選定</u> . . . . .	27

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。  
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場合があります。

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

平成31年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第3号）

---

平成31年3月8日（金曜日）

---

出席議員（1名）

議長 櫻井 正人 君

---

出席委員（17名）

委員長 鈴木 忠美 君

副委員長 木村 範雄 君

委員 伊藤 司 君

西澤 文久 君

小淵 洋一郎 君

土村 秀俊 君

高久 時男 君

永野 渉 君

渡辺 幹雄 君

及川 智善 君

鈴木 晴子 君

後藤 哲 君

安田 知己 君

吉岡 伸二郎 君

伊勢 英昭 君

遠藤 紀子 君

郷右近 隆夫 君

---

欠席委員（なし）

---

説明のため出席した者

副 町 長

伊藤 三男 君

財 務 課 長

高橋 三喜夫 君

保健福祉課

課 長

伊藤 文子 君

福 祉 班 長

小畑 香代 君

福 祉 班 主 幹

加藤 兼征 君

福 祉 班 主 幹

及川 直利 君

健 康 づ く り 班 長

櫻井 明子 君

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

健康づくり班技術主幹	小原晶子君
健康づくり班技術主幹	柏崎裕子君
長寿介護班長	堀越伸二君
長寿介護班技術主幹	守山明子君
長寿介護班主幹	大枝大将君
子ども支援課	
課長	菅井百合子君
子ども支援班長	鈴木久仁子君
子ども支援班主任主査	佐藤瑞穂君
子ども支援班主査	加藤範晃君
菅谷台保育所長	青柳久美子君
子ども未来班長	谷津匡昭君
子ども未来班技術主幹	岩田和子君
子ども未来班主査	太田博昭君
東部地区子育て支援センター所長	伊藤香君

議会事務局職員出席者

事務局長	鈴木則昭君
主幹	土屋俊介君
主任主査	利玲子君
主事	伊藤卓弥君

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

午後1時27分 開 議

○委員長（鈴木忠美君） これより予算審査特別委員会を再開します。

ただいまの出席委員は17名です。

審査日程表により進めてまいりますので、円滑な議事運営に御協力願います。

審査に入る前に申し上げます。質疑は1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には質疑が一巡した後をお願いします。また、質疑の際はわかりやすく簡潔をお願いします。さらに、質疑が重複しないようできるだけ関連質疑で対応するようお願いいたします。

それでは、審査日程表により**保健福祉課の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、保健福祉課長より本日出席している説明員を紹介願います。保健福祉課長。

○保健福祉課長（伊藤文子君） 大変お疲れさまでございます。それでは、本日出席しております保健福祉課の説明員を紹介いたします。

初めに、福祉班から紹介いたします。

福祉班長の小畑香代です。（「小畑です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

主幹の加藤兼征です。（「加藤です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

主幹の及川直利です。（「及川です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

続きまして、健康づくり班を紹介いたします。

健康づくり班長の櫻井明子です。（「櫻井です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

技術主幹の小原晶子です。（「小原です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

技術主幹の柏崎裕子です。（「柏崎です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

続きまして、長寿介護班を紹介いたします。

長寿介護班長の堀越伸二です。（「堀越です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

技術主幹の守山明子です。（「守山です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

主幹の大枝大将です。（「大枝です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

最後に、私、保健福祉課長の伊藤文子です。よろしくお願ひいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。保健福祉課長。

○保健福祉課長（伊藤文子君） それでは、平成31年度保健福祉課関係の当初予算について一般会計予算、介護保険特別会計予算の順に御説明いたします。

初めに、一般会計予算の歳入から御説明申し上げます。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

平成31年度利府町各種会計予算説明書①の8ページをお開き願います。

13款1項2目民生費負担金1節老人福祉費負担金412万3,000円でございますが、青葉台デイサービスセンターの施設管理のための負担金を計上しております。

12ページをお開きください。15款1項1目民生費国庫負担金1節社会福祉費負担金2億1,235万5,000円につきましては、障害者自立支援医療費及び障害者自立支援給付費に要する事業費の2分の1の負担率で計上しております。3節児童福祉費負担金のうち障害児施設給付費等負担金7,938万3,000円につきましては、児童発達支援等の障害児施設給付費等に要する事業費の2分の1の負担率で計上しております。5節低所得者介護保険料軽減負担金129万6,000円につきましては、低所得者の高齢者の介護保険料軽減に係る事業費の2分の1の負担率で計上しております。

13ページをごらんください。15款2項2目民生費国庫補助金1節社会福祉費補助金につきましては、障害者・障害児の日常生活用具給付事業や移動支援事業など地域生活支援事業に要する事業費の2分の1の補助率で874万9,000円を計上しているほか、低所得者・子育て世帯主向けプレミアム付き商品券事業事務費補助1,219万8,000円と同事業費補助2,750万円につきましては、消費税、地方消費税の10%への引き上げが低所得者やゼロから2歳児のいる子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起、下支えすることを目的としてプレミアム付商品券を販売する事業に要する事務費及び事業費を10分の10の補助率で計上しております。2節児童福祉費補助金のうち、乳児家庭訪問事業費補助32万5,000円及び養育支援訪問事業費補助4万6,000円、子育て世代包括支援センター事業費補助125万9,000円につきましては、事業費の3分の1の補助率で計上しており、母子保健情報システム改修事業費補助64万8,000円につきましては、事業費の3分の2の補助率で計上しております。

15ページをお開きください。16款1項2目民生費県負担金1節社会福祉費負担金1億617万7,000円につきましては、障害者自立支援医療費及び給付費に要する事業費の4分の1の負担率で計上しております。

16ページをお開きください。3節児童福祉費負担金のうち障害児施設給付費等負担金3,969万1,000円につきましては、事業費の4分の1の負担率で計上しております。

16款2項1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金のうち、17ページをごらんください、在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業費補助14万円につきましては限度額7,000円の補助で、難聴児補聴器購入助成事業費補助4万6,000円及び市町村献血推進事業費補助2万3,000円につ

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

きましては事業費の3分の1の補助率で計上しております。また、食育実践地域活動支援事業費補助6,000円、知的障害者グループホーム体験ステイ推進事業費補助1万5,000円及びがん検診受診率向上促進事業費補助9,000円、市町村地域福祉おこし事業補助144万6,000円につきましては、事業費の2分の1の補助率で計上しております。

2目民生費補助金1節社会福祉費補助金444万6,000円につきましては、民生委員推薦会運営事業費補助と地域生活支援事業費補助の事業費の4分の1の補助率で計上しております。2節老人福祉費補助金、老人クラブの事業費補助129万2,000円につきましては老人クラブの事業費の3分の2の補助率で、低所得者対策事業費補助9万円につきましては事業費の4分の3の補助率でそれぞれ計上しております。

18ページをお開きください。3節児童福祉費補助金のうち乳幼児発達相談支援事業費補助98万1,000円、不妊治療助成事業費補助37万5,000円、母子健康手帳サービス事業費補助6万4,000円につきましては事業費の2分の1の補助率で、乳児家庭訪問事業費補助32万5,000円及び養育支援家庭訪問事業費補助4万6,000円、子育て世代包括支援センター事業費補助125万9,000円につきましては、事業費の3分の1の補助率で計上しております。

3目衛生費県補助金1節被災者健康支援事業補助金1万1,000円につきましては、被災者特別検診事業補助として若年層を対象とした健康診査事業に要する事業費の10分の10の補助率で計上しております。2節自殺対策緊急強化事業補助金20万6,000円につきましては、人材育成、普及啓発事業等に要する事業費の4分の3または6分の5の補助率で計上しております。3節健康増進事業等補助金162万5,000円につきましては、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検診及び健康教育事業等に要する事業費の3分の2の補助率で計上しております。

25ページをお開きください。21款3項2目1節民生費貸付金元利収入のうち災害援護資金貸付金854万6,000円につきましては、災害援護資金の償還金でございます。

26ページをお開きください。4項3目雑入8節商品券販売代1億1,000円につきましては、13ページで説明いたしましたが、低所得者・子育て世帯主向けプレミアム付き商品券事業の商品券販売代金となっております。

22款1項2目民生費1節災害援護資金貸付金170万円につきましては、東日本大震災の被災者に融資する災害援護資金の貸し付け原資として県からの借入金を計上しております。

続いて、歳出の主な項目について御説明いたします。57ページをお開きください。

3款1項1目社会福祉総務費につきましては、社会福祉事業及び障害福祉事業に要する経費

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

として前年度より8,098万8,000円増の7億2,538万8,000円を計上しております。増額の主な要因としましては、58ページをお開きください、13節委託料の第6期障害福祉計画及び第3期地域福祉計画策定事業に伴う増額と、20節扶助費において居宅介護や短期入所事業費等の介護給付費、また就労支援等の訓練等給付費及び放課後等デイサービス等の障害児給付費の各給付費を前年度の実績に基づき計上したことによるものでございます。

60ページをお開きください。2目高齢者福祉費につきましては、一般の高齢者福祉事業に要する経費として前年度より559万6,000円減の5,329万9,000円を計上しております。減額の主な要因といたしましては、一般会計の一般高齢者の福祉事業でありました紙おむつ支給事業が第7期計画においても介護保険事業の対象となったことにより、介護保険特別会計に組み替えを行ったことによるものであります。また、19節負担金、補助及び交付金の補助金利府町シルバー人材センター事業の増額につきましては、働き方改革による高齢者の就労の場の確保を目的に会員の増加分に応じて国の補助金に変更されたことに伴い15万円増額計上しております。なお、平成30年度まで実施しておりました敬老会を終了し、平成31年度から高齢者福祉事業として各地区で実施する敬老会などに係る事業費補助としまして、政策課でも説明しておりますが、地域活動事業総合交付金のうち337万円を計上しております。

62ページをお開きください。4目保健福祉センター管理費につきましては、管理運営に要する経費として前年度より284万8,000円増の3,129万円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、11節需用費の燃料費の増額と15節工事請負費の保健福祉センター内の冷温水送水ポンプ交換工事及びセンター玄関前柱修理工事による増額であります。

63ページをごらんください。7目介護保険事業費につきましては介護保険運営に要する一般会計分として前年度より165万6,000円増の3億716万1,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、介護給付費の増によるものでございます。

64ページをお開きください。9目低所得者・子育て世帯主向けプレミアム付き商品券事業費1億4,969万8,000円でございますが、13ページの歳入で説明いたしました事業を計上しております。なお、事業対象者は低所得者3,000世帯、低所得者人数4,500人、子育て世帯750世帯、子育て対象者数1,000人を見込んでおります。

73ページをお開きください。3款3項1目災害救助費につきましては、前年度と同様の170万6,000円を計上しております。

続きまして、4款1項1目保健衛生総務費につきましては、職員人件費及び保健事業の事務

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

に要する経費として前年度より770万8,000円減の6,545万6,000円を計上しております。減額の主な要因としましては、平成30年度に計上しておりました塩釜地区口腔保健センター整備に係る補助金の終了に伴う減額であります。

74ページをお開きください。2目予防費につきましては、予防接種など予防事業に要する経費として前年度とほぼ同額の9,945万3,000円を計上しております。

75ページをごらんください。3目健康増進事業費につきましては、各種検診に要する経費として前年度より797万6,000円減の6,642万4,000円を計上しております。減額の主な要因としましては、13節委託料のうち30年度まで計上しておりました後期高齢者の健康診査業務委託分につきまして、町民課でも説明しておりますが、後期高齢者医療事業費に組み替えしたことによるものでございます。

76ページをお開きください。4目母子衛生費につきましては、母子保健事業に要する経費として前年度より532万4,000円増の4,459万5,000円を計上しております。増額の主な要因としましては、平成30年10月より設置しております子育て世代包括支援センター関係の増額によるものでございます。

以上が平成31年度一般会計予算でございます。

引き続き、介護保険特別会計予算について御説明申し上げます。平成31年度利府町各種会計予算説明書②の25ページをお開き願います。

平成31年度介護保険特別会計予算の総額は歳入歳出それぞれ20億4,956万2,000円で、前年度より5,130万4,000円の増となっております。

初めに、歳入の主な項目を御説明いたします。27ページをお開きください。

1款1項1目第1号被保険者保険料5億5,101万3,000円につきましては、第7期介護保険事業計画で算定しました保険料月額5,400円、被保険者数を8,118人で現年度分保険料を見込み、前年度より1,447万6,000円の増となっております。

3款1項1目介護給付費負担金、前年度より653万円増の3億3,736万7,000円と、3款2項1目調整交付金、前年度より406万7,000円増の1,913万5,000円につきましては、介護給付費の増加に伴う増となっております。

3目包括的地域支援事業交付金2,177万4,000円につきましては、地域包括支援センターの設置や生活支援体制整備事業等に対する交付金で、前年度より501万3,000円の増となっております。増額の主な要因といたしましては、一般会計予算でも説明いたしましたが、紙おむつ支給



事業について補助が認められたことによります一般会計予算からの組み替えにより増額となっております。

28ページをお開きください。4款1項1目介護給付費交付金、前年度より1,083万2,000円増の5億7,723万9,000円、5款1項1目介護給付費負担金650万8,000円増の2億7,319万8,000円につきましては、29ページをごらんください。

7款1項1目介護給付費繰入金501万5,000円の増の2億3,483万2,000円につきましては、それぞれ介護給付費の増加に伴う増額となっております。

5目その他一般会計繰入金5,088万4,000円につきましては、塩釜地区消防事務組合介護認定審査事業負担金及び事務費の減に伴い前年度より916万7,000円の減となっております。

続いて、歳出の主な項目を説明いたします。31ページをお開きください。

1款1項1目一般管理費につきましては、人件費の減により前年度より176万5,000円減の2,376万円を計上しております。

32ページをお開きください。1款3項1目介護認定審査会費につきましては、歳入でも御説明いたしましたが、塩釜地区消防事務組合介護認定審査事業負担金等の減により前年度より443万6,000円減の1,763万1,000円を計上しております。

33ページをごらんください。2款1項介護サービス等諸費につきましては、1目居宅介護サービス等給付費から4目介護サービス計画給付費まで、総額17億1,339万6,000円を前年度実績により計上しております。

続きまして、35ページをお開きください。2款5項1目特定入所者介護サービス費につきましては、対象見込み者数の増により前年度より388万8,000円増の7,431万6,000円を計上しております。

5款1項介護予防生活支援サービス事業費につきましては36ページをお開きください。合計で前年度より238万3,000円増の2,040万7,000円を計上しております。増額の主な要因としましては、サービス利用者増によるものであります。5款2項1目一般介護予防事業費につきましては、前年度より366万8,000円減の1,677万3,000円を計上しており、介護予防を推進するため各種講座の開催に要する経費や、地域における居場所づくり活動を支援するための事業費及び介護支援ボランティア活動事業に要する経費を計上しております。減額の主な要因としましては、人件費減によるものでございます。

37ページをごらんください。5款3項2目包括的任意事業費につきましては、一般会計予算

及び歳入27ページで説明いたしました紙おむつ支給事業について、補助が認められましたことから一般会計予算からの組み替えにより計上になったことにより前年度より428万6,000円増の718万6,000円を計上しております。

38ページをお開きください。4目生活支援体制整備事業費につきましては763万5,000円を計上しており、地域における支え合いや生活支援等サービスの提供体制のコーディネート機能を担う生活支援コーディネーターの設置に要する経費と、生活支援体制整備に向けた人材育成のための経費を計上しております。

5目認知症総合支援事業費につきましては、認知症初期集中支援チーム設置に要する経費、従事する職員1名分の人件費等を新たに計上し、前年度より934万4,000円増の993万9,000円を計上しております。

以上が介護保険特別会計の予算でございます。

これで保健福祉課所管の当初予算の説明を終わります。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑に入ります。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。17番及川委員。

○及川智善委員 それでは74ページ、①の74ページです。予防費、2目の予防費の13節委託料の予防接種業務委託料についてお伺いいたします。

前年度、そんなに変わらないんですけども、約1億円近くということなんですけど、その主たる部分は委託費に9,200万円、あと800万円も足すと8,000万円、800万円足すと大台に乗る数字なんですけれども、それはともかくとしても予防接種の業務委託ということなんですけど、それぞれ2項目事業がございますけれども、それぞれはもちろん入札関係あるので中身入れられないのは承知しておりますけれども、なぜメンタルシステムのチェックの運営管理業務というのは予防接種とどうかかわり合いがあるのかよく理解できないところがあるので、これの説明と、それから2項目の健康管理システム改修業務委託料、予防接種の部分についての改修する中身がなぜ変わったのか。その辺の内容をあわせて説明をお願いします。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 17番及川委員のご質問にお答えいたします。予防接種業務委託料につきましては、乳幼児等の高齢者のインフルエンザなどの予防注射の業務の委託料になります。メンタルチェックシステムの業務委託料、こちらにつきましては昨年度か

ら行っております心の体温計、こちらのほうの業務の委託料の内容となっております。

また、健康管理システム改修の業務委託料になりますが、こちらは男性の風疹の抗体及び定期予防接種の実施に向けて対象者へのクーポンやデータ管理等でシステムを改修する必要がございます、こちらを計上いたしております。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） 17番及川委員。

○及川智善委員 今のメンタルチェックシステムということで、去年からやっている心の体温計ということなんですけれども、当然町民のためだと思うんですけれども、去年から始まっているということは実績がどうだったのかお伺いしたいんですけれども、どのような実績があったのか。心の体温計という今言われましたけれども、私も行ったことないので見たことがないというか大変失礼な言い方なんですけれども、効果的に去年どうだったのか。その辺の中身教えていただきたいと思います。

○委員長（鈴木忠美君） 小原技術主幹。

○保健福祉課健康づくり班技術主幹（小原晶子君） お答えいたします。心の体温計ですが、パソコンや携帯電話を使って簡単に質問に答えていくと、今自分のストレス度や落ち込み度がチェックできるような内容になっています。2月末現在で1万7,207名の方が利用しております。そのうち、うつ傾向のある方が大体4%、ケアの対象が必要と思われる方が4%となっています。実際に心の体温計の中でうつ傾向とか、あとケアが必要な方については相談先のほうも検索ができるようになっており、そこから相談につながったケースもございます。

○委員長（鈴木忠美君） よろしいですか。17番及川委員。

○及川智善委員 1万7,200人というのはすごい数字なんですけれども、どういう方法でやったのかわかりませんが、去年からしたらかなりの人数の方が相談に来られたということで認識しておりますけれども、それで、住民の方、周知されているかどうかかわかりませんが、その4%の有病者というか含めてその進めるときにお医者さんの次の専門医に進める方法についてはどのような方法で伝達しているのでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 及川委員の再質問にお答えいたします。こちらの心の体温計につきましては、医療的な診断とか判断ということではなく、御自身の今の心の様子、あるいは御自身から見た御家族の心の様子のある程度の指標的に見ていくという形となります。ですので、そこの中からの専門機関といたしましては各関係の相談機関、県の心の相談

であったり、あるいはお子さんのことについてですと保健福祉課の健康づくり班といったところの健康づくり班といたるところに一度御相談をというような形のメッセージが出てくるような表記となっております。ですので、うつ状態についての何らかの治療を促すという形の表記とはまた異なる形となっております。

○委員長（鈴木忠美君） 関連あるんですか。（「はい」の声あり）

関連で、木村委員。7番。

○木村範雄委員 済みません。今1万7,000人と聞いて、町民の半分と一瞬思ってしまったんですけれども、多分1人で1回ではなくある程度1週間とか2週間と来てやっていく分で、延べ1万7,000回というふうになるのかなと思うんですけれども、実際それを受診して受けた、チェックしたという人どのぐらいなっていますか。

○委員長（鈴木忠美君） 小原技術主幹。

○保健福祉課健康づくり班技術主幹（小原晶子君） お答えいたします。今こちらのほうで実人数というのは正直把握しておりません。延べ人数で1万7,207人ということになっております。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 2点お伺いいたします。まず1点目は、61ページです。2目の高齢者福祉費の中の20節扶助費ですけれども、敬老祝い金、昨年度30年度の予算よりも200万円ぐらいふえております。説明書の中に、資料の中に今度100歳を迎えられる方が20年以上で利府町に在籍している方が10人という人数が出ておまして、この10名という方の人数でこの予算がかなりの額になったんだと思います。そろそろまたこの超長寿社会の中でそろそろ見直しもということを考えるわけですけれども、10名というの、これからもこのような多い人数のときがあるのではないかと思いましたが、そのあたりの予算を編成するに当たって見直し等々の議論はなかったのかをお伺いいたします。

2点目ですが、63ページ。保健福祉センター管理に関するものですが、15節工事請負費の中で冷温水送水ポンプ交換工事というのが福祉センターの工事というお話でしたが、これはお風呂の関係の工事なのかをお伺いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 14番遠藤委員の御質問にお答え申し上げます。敬老会の敬老祝い金につきましては、確かに100歳の方が今年度につきましては14名、95歳の方が27名、88歳の方が112名、77歳の方が316名ということになっております。確かに敬老祝い金の

対象になる方は年々増加の傾向になっているのも事実でございます。敬老祝い金の支給につきましては、平成24年と28年に見直しを行っております。こちらのほうでも再度編成するに当たって今後の見込み等を踏まえながら、御指摘のとおり議論のほうはさせていただいております。ただ、まだ見直しをしてまだ日が浅いという2年目ということ、今年度3年目ですけれども、なりますので、まだちょっとそちらのほうの尚早なのかなということで今議論のほうにはなっております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 及川主幹。

○保健福祉課福祉班主幹（及川直利君） 冷温水送水ポンプ交換工事についてお答えいたします。こちらのポンプにつきましては冷暖房のボイラーのポンプになっておりまして、設備の点検の際にイオンが発生するというので、こちらが保健福祉センター設置から二十二、三年経過しておりまして、経年劣化で劣化しているということで交換工事を行うものでございます。

○委員長（鈴木忠美君） 14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 1点目のお祝い金の話ですけれども、非常にお祝いをするというのは趣旨としては非常によいことですし、喜ばしいことだと思います。しかし、10名という人数を見てびっくりしたわけですけれども、施設に入っていらっしゃる方も多いのではないかと想像しますし、利府町に住んで20年以上の方が30万円ということですが、考えてみますと80歳で利府町に来れば100歳まで生きると30万円いただけるということにも単純な話になりますので、この金額云々ではなく、こうやって高齢者の施設も多くなってまいりましたので、改めてお聞きしますけれども、この10名の方の中で施設等に入っていらっしゃる方の人数がもしつかめているようでしたらお願いいたします。

それから2点目ですけれども、これはお風呂の部分ではないというお話でした。お風呂も、先ほども答弁にありましたように、二十二、三年たっておりますので、非常に水回りということで心配な部分がございますけれども、そろそろいろいろな大きな工事が入ってくるのではないかと思います。改めて62ページに13節の役務費として毎年レジオネラ菌の検査も入っております。このあたりもそろそろ非常に危険なレジオネラ菌ということ、ときどきニュースなどでも出てきますけれども、ほんの少量でも死に至るようなことがあるような菌だと思いますけれども、このあたりの毎年同じような検査ですけれども、これで大丈夫なんでしょうか。ちょっと心配なところがありますので、お風呂の件、お願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 14番遠藤委員の再質問にお答え申し上げます。こちらのほうで施設のほうの入所になられている方が9名、在宅の方が5名ということで今年度は計上させていただいております。

○委員長（鈴木忠美君） 小畑班長。

○保健福祉課福祉班長（小畑香代君） 遠藤委員の再質問にお答えいたします。先ほど及川のほうもお伝えしましたとおり、保健福祉センターも20年たちましてというところでいろいろ修繕する箇所、工事する箇所が出てきているところがございます。日々点検をしながら修繕する箇所、工事する箇所を順次予算にも上げて改善していっているところです。お風呂に関しましては、こちらの検査につきましては浴室のほうの保健所のほうの規定がありますので、まずレジオネラ検査については年2回行っております。保健所のほうにお風呂のお湯のほうをお持ちしまして、検査をしていただいて、大丈夫ですというところでそのまま営業しているところがございます。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 お風呂のほうは非常に高齢者の入るものですから菌に対するもの、衛生面でこれからも気をつけてやっていただきたいと思います。

改めて敬老会のお祝い金の話ですが、今施設に入っている方が9名、在宅が5名ということでちょっと資料とは違うんですけれども、施設に入っている方が非常に9名というのは非常に多い方でどのぐらいの年数利府町にいらっしゃる方かもよくわかりませんが、その辺、施設に入って非常にいい環境の中で100歳を迎えられる方というのはこれからもどんどんふえてくる可能性がありますし、知っている範囲でも結構他県からいらして入所なさっている方もいろいろ存じ上げております。こういった面でも、改めてもう一度、31年度予算に限らずこれからもちょっと見直すようなお話が出ないかと思いますが、改めてお伺いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 伊藤課長。

○保健福祉課長（伊藤文子君） 遠藤委員の御質問にお答えいたします。先ほど堀越班長のほうからお答えしましたが、今年度も予算につきまして庁舎内のほうでもいろいろ意見が出たところではございますが、委員おっしゃいますように、今後とも高齢者の方はどんどんふえてまいりますので、ある程度の年数の節目をもちまして検討を、金額、それから要件等についても今後とも検討していきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思っております。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに。2番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 3点お伺いいたします。75ページ、お願いします。4款1項3目健康増進費でございしますが、今年度31年度ははつらつ健康利府プランができて3年目の取り組みの年になってくるのかなというふうに思っておりますが、その健康づくりにつきまして今年度さらに力を入れて行っていくものがありましたらお伺いいたします。

2点目、76ページお願いします。76ページの13節母子健康手帳アプリなんですけれども、こちらの内容をお伺いいたします。

3点目は補足説明資料の49ページのほうをお願いしたいんですが、そちらに子育て世代包括支援センターの件が載ってございますが、昨年10月よりスタートしているかと思いますが、その内容そのまま31年度は同じ内容で進めていくものなのか、新たに加わる内容はあるのかお伺いいたします。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） 小原技術主幹。

○保健福祉課健康づくり班技術主幹（小原晶子君） 2番鈴木委員の御質問にお答えいたします。

1点目のはつらつ健康利府プランの推進につきましては、計画初年度の平成29年度につきましては、健康に関する7つの分野別の取り組みというのを基本目標と目標項目を設定し健康づくり、食育推進に取り組んでおります。1年目は栄養、食生活、生活リズム、食育、あとは運動の推進のほうに重点を置きました。本年度は2年目ということで生活習慣病対策、がんのほうを重点的に推進いたしました。計画3年目の来年度につきましては、休養と心の健康づくり、歯と口腔の健康、たばこ・アルコール対策のほうを重点取り組みとして推進していきたいと考えております。

あと、2点目の母子手帳アプリにつきましては、昨年10月から導入しております。携帯電話等の機器を利用し、町で交付する母子手帳の機能を補助し、妊娠・出産・育児等の子育ての不安や悩みを軽減してもらうことを目的として導入しております。検診の記録や子供の成長記録のデジタル化、家族との共有化、妊娠・出産・育児に関する役立つ情報を簡単に手に入れることができます。また、町の検診のお知らせとか情報とかもタイムリーに提供できる内容となっております。3月5日現在で、現在58の方が登録をしております。

子育て世代包括支援センターについてですが、10月1日から妊娠期から子育て期の不安や悩みに対して切れ目ない支援を行うために開設しております。事業内容としましては、継続で今まで行っています母子手帳及び妊婦面接、また特定妊婦等の要支援者、妊産婦及び新生児訪問を継続して実施しておりますが、今年度の2月から心理士による育児相談というのも実施して

おります。来年は年9回実施する予定になっています。そのほか、プレママ・プレパパ広場の継続や新たな事業の取り組みとしまして祖父母教室、また子育て講演会というのも継続して、また回数、内容等を変えて実施していきたいと考えております。

○委員長（鈴木忠美君） 2番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 それでは、1点目のはつらつ健康利府プランのほうで3年目の取り組みとして心の健康とかそういう部分を取り組んでいくということだったんですが、具体的な内容をお伺いしたいと思います。

それから2点目のアプリのほうなんですけれども、妊婦さんはどのようにその部分をお知らせというかお伝えしているのかという部分をお伺いします。

それから3点目の子育て世代包括支援センターにつきましては、産後うつ、私も一般質問しましたが、産後うつが心配な部分で国は進めている部分もありますので、その部分では電話相談、来る部分の電話相談という部分はあるかと思うんですが、こちらから電話をかけていくという部分も大事ではないかというふうに考えますが、その辺、検討されているのかお伺いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 小原技術主幹。

○保健福祉課健康づくり班技術主幹（小原晶子君） お答えいたします。1点目のはつらつ健康利府プランの新たな取り組み、特に心の健康づくりの取り組みにつきましては、3月に利府町自殺対策計画のほうを策定いたします。その中で盛り込まれているんですが、利府町自殺対策ネットワーク会議の推進、また、ゲートキーパーの養成講座、ゲートキーパーを今まで講座を受けた方へのフォローアップ講座、また精神保健の講演会等を実施していく予定になっております。

あと、2点目の母子手帳アプリの周知の仕方ですが、母子手帳の交付時、または乳幼児健診等でチラシ等を配付して周知のほうをしております。

産後うつのフォローなんですけど、新生児訪問のほうを全戸に実施しております。その中で、ケアが必要な方については電話等の支援、または再度訪問等もしております。

○委員長（鈴木忠美君） よろしいですか。ほかに。5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 58ページ、3款1項1目社会福祉総務費の13節委託料、上から更生医療審査支払事務業務委託料、それから障害福祉サービス等審査支払事務業務委託料、次に育成医療審査支払事務業務委託料とございますけれども、具体的にどういうものか説明願います。



○委員長（鈴木忠美君） 小畑班長。

○保健福祉課福祉班長（小畑香代君） 小淵委員の御質問にお答えいたします。こちらの更生医療、障害福祉サービス、育成医療についての審査支払いの事務の委託料についてでございますが、こちらは国保連合会のほうに更生医療、育成医療につきましては治療をしたお医者さんのほうが支払いのほうの点数とかそちらのほうを提出しますので、それで取りまとめていただいて、こちらのほうの町のほうに請求していただくという事務を国保連と連携してやっておりますので、それに対して発生する事務の委託料です。障害福祉サービスにつきましても、皆さん障害者の方がサービスを利用したとき、事業所のほうから一度国保連合会のほうに提出されるような形になります。どの方が何時間使いました、それは何単位でしたというところの事務とかそちらのほうに提出されることになりますので、それがまたまとめて町のほうに金額として請求されるような形になりますので、その中間地点としての国保連合会での事務というところでの委託料、発生する委託料となっております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 そうしますと、かなり膨大な事務量になると。総件数にするとそれぞれどのぐらいの件数やっているのでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 小畑班長。

○保健福祉課福祉班長（小畑香代君） お答えいたします。こちらのほうの利用者数につきましては、月々それぞれというところがございますが、育成医療、今年度で言いますと育成医療を利用された方は3名おりますので3名の事務というところになりますし、更生医療につきましては月々、毎月20名ほど御利用の方がございます。障害福祉サービスにつきましても、こちらのほうにつきましては複数で一人で利用されている方もございますが、大体500件ぐらいというところになるかと思えます。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。10番高久委員。

○高久時男委員 1点だけ。以前、課長にも話したんですけれども、今北部支援センターが入っている建物なんですけれども、建物の管理は所管ではないかもしれないけれども、非常に老朽化が進んでいるんです。ですから、一応内装的なものは入っている業者さんやっているでしょうけれども、屋根と外壁、この辺をそろそろ手を入れないと朽ちていくのではないかという懸念をしております。長期に使用しないということであれば別に構わないんですけれども、今北部包括支援センターあそこに開設するときもどこにも物件がなくて、結局あそこになったとい

う経緯があります。何らかで利用価値のある建物であれば長寿命化というわけではないですけども、長くもつような形で1回手を入れたほうがいいと思いますけれども、いかがでしょう。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 10番高久委員の御質問にお答え申し上げます。確かに北部包括支援センターにつきましては、しらかし台が販売した当初の販売センターを御利用させていただいておりますので、一番しらかし台の中では古い建物となっております。そちらにつきましては、毎回私のほうで北部包括の所長のほうと相談をしながら、今悪いところとか修繕をかけなければならないようなところにつきまして細かくお話をさせていただいております。屋根につきましても、確かに古い建物にはなっていますが、まだ雨漏り等について今のところ、1回屋根の部分については修繕掛けたということがありました、雨漏りの修繕です。そういうこともありまして、今のところは問題はありませんというような内容も伺っております。ただ、いろいろなところで、確かに委員御指摘のとおり、一番古い建物となっておりますので、必ずどこか修繕箇所は出てくると思います。そちらにつきましても今町としては普通財産という形で契約のほうをさせていただいておりますので、そちらの所管の課と一緒に、担当班と一緒に相談をしながら必要な箇所があれば修繕していくような形を努めていきたいと思っておりますので、御理解のほどをお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 10番高久委員。

○高久時男委員 ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

今話ありましたように、団地の販売の案内所だった建物をそのまま使っているということですから、あの団地の中で一番古い建物です。通常、民家であれば15年、20年で1回屋根塗装とかということをするんですけども、あの建物、一切そういうことをしていないんです。ですから、今話ししましたように、部分的に何かあったときに部分補修するというのもひとつですけども、1回ちゃんとチェックして使うのであればしっかり長もちするような形でやっていただきたいと思ひます。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 高久委員の再質問にお答えいたします。確かにそのとおりでございます。こちらとしても修繕、部分修繕という形ではなくいろいろ考えてはいるところなんですけど、これも予算とかいろいろなこともございますので、担当課と検討させていただきながら進めさせていただきたいと思ひますので、御理解のほどをよろしくお願ひいたし

ます。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 質疑がありませんので、以上で保健福祉課の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで、暫時休憩します。再開は14時40分とします。

午後2時28分 休 憩

---

午後2時38分 再 開

○委員長（鈴木忠美君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により子ども支援課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、子ども支援課長より本日出席している説明員を紹介願います。子ども支援課長。

○子ども支援課長（菅井百合子君） お疲れさまでございます。

それでは、本日出席しております子ども支援課の説明員を紹介いたします。

初めに、子ども支援班から紹介いたします。

子ども支援班長の鈴木久仁子です。（「鈴木です。よろしくお願いします」の声あり）

主任主査の佐藤瑞穂です。（「佐藤です。よろしくお願いします」の声あり）

主査の加藤範晃です。（「加藤です。よろしくお願いします」の声あり）

菅谷台保育所長の青柳久美子です。（「青柳です。よろしくお願いします」の声あり）

次に、子ども未来班を紹介いたします。

子ども未来班長の谷津匡昭です。（「谷津です。よろしくお願いします」の声あり）

技術主幹の岩田和子です。（「岩田です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

主査の太田博昭です。（「太田です。よろしくお願いします」の声あり）

東部地区子育て支援センター所長の伊藤 香です。（「伊藤です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

最後に私、子ども支援課長の菅井百合子です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。子ども支援課長。

○子ども支援課長（菅井百合子君） それでは、子ども支援課の平成31年度当初予算について、

各種会計予算説明書1により説明いたします。

初めに、歳入から説明いたします。

8ページをお開きください。

13款1項2目民生費負担金2節児童福祉費負担金1億6,379万3,000円につきましては、町内認可保育所8施設の保育所保育料負担金と菅谷台保育所の延長保育料負担金及び平成31年度から菅谷台保育所で実施する一時預かり保育料負担金を計上しております。前年度より188万5,000円、1.2%の増で、一時預かり保育料、入所児童の年齢構成及び保育料算定の階層構成の変動により増額となっております。3節児童福祉費負担金滞納繰り越し分につきましては、保育所保育料負担金の滞納繰り越し納入見込み額21万1,000円を計上しております。

9ページをごらんください。14款1項2目民生使用料2節児童クラブ使用料につきましては、町内児童クラブ7カ所の使用料として2,089万6,000円を計上しております。前年度より160万9,000円、8.3%の増で、利用を希望する児童の増加に伴い使用料が増額となっております。

12ページをお開きください。15款1項1目民生費国庫負担金3節児童福祉費負担金のうち、施設型給付費負担金と地域型保育給付費負担金を合わせた4億5,196万円及び、16ページをごらんください。15款1項1目民生費国庫負担金3節児童福祉費負担金のうち施設型給付費負担金と地域型保育給付費負担金を合わせた2億4,236万8,000円につきましては、平成31年4月から施設型給付に移行する利府幼稚園及び利府聖光幼稚園を含む3施設、また広域利用施設の3施設、町内の特定保育施設8施設、さらに地域型保育施設として4月に開園する利府にっこり保育園及び利府聖光保育園を含む5施設及び事業所内保育施設1施設の運営に対する国及び県からの負担金を計上しております。

13ページにお戻りください。15款2項2目民生費国庫補助金2節児童福祉費補助金のうち、子ども支援課関係につきましては説明項目3段目の地域子育て支援拠点事業費補助から幼児保育事業費補助までの7事業で5,386万2,000円を計上しております。地域子育て支援拠点事業費補助につきましては、町内5カ所に設置している子育て支援センターの運営に対する国庫補助として1,702万8,000円を計上しております。放課後児童健全育成事業費補助につきましては、町内小学校に開設している児童クラブ7カ所の運営に対する国庫補助金として2,976万8,000円を計上しております。

16ページをお開きください。16款2項1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金のうち子ども支援課関係につきましては、障害児保育事業費補助として障害のある児童の受け入れを

実施する民間保育所、認定こども園に対する県補助金として228万円を計上しております。低年齢児保育施設助成事業費補助につきましては、町内の認可外保育施設の運営に対する県補助金として42万7,000円を計上しております。

17ページをごらんください。2目民生費県補助金3節児童福祉費補助金のうち子ども支援課関係につきましては、地域子育て支援拠点事業費補助から子育て支援情報発信事業補助までの6事業及び18ページの一時預かり事業補助から保育所給食利府産米導入事業費補助までの4事業、計10事業分の県補助金として6,067万4,000円を計上しております。

続きまして、歳出について説明いたします。

65ページをお開きください。3款2項1目児童福祉総務費につきましては7,676万6,000円を計上しており、前年度より110万8,000円、1.5%の増となっております。増額の主な内容につきましては、職員人件費の増によるものです。

66ページをお開きください。5目保育所費につきましては13億9,132万2,000円を計上しており、前年度より3億938万8,000円、28.6%の増となっております。特定教育施設町立菅谷台保育所の運営に要する経費及び民間認可保育所、認定こども園、小規模保育施設等の保育園に要する経費となっておりますが、増額の主な内容につきましては平成31年4月から利府幼稚園及び利府聖光幼稚園が施設型給付を受ける施設へ移行することによる運営負担金の増、また平成30年10月に小規模保育施設バイリンガル保育園ネクスト、平成31年4月から利府にっこり保育園及び利府聖光保育園が開園することによる運営負担金の増によるものです。

別添当初予算関係補足説明資料の42ページ、43ページをお開きください。各保育施設の定員につきましては、記載のとおりとなっております。小規模保育施設の開園等により前年度と比べ2号及び3号で45人増の796人となっております。依然として保育所への入所を希望する家庭が増加していることから、各保育所と連携を図り保育室の面積、保育士の配置を十分に確認した上で、国が認めている弾力運用を実施しながら待機児童の解消に努めてまいりたいと考えております。

予算説明書にお戻りください。68ページをお開きください。

19節負担金、補助及び交付金12億2,640万9,000円のうち、負担金につきましては特定教育施設3施設、広域利用施設3施設、特定保育施設である私立保育園7施設、認定こども園1施設の8施設と、地域型保育施設である小規模保育施設5施設、事業所内保育施設1施設の計20施設の運営に対する負担金としまして11億9,712万9,000円を計上しております。

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

69ページをごらんください。補助金につきましては、各保育施設で実施しております延長保育促進事業や一時預かり事業など各種事業に要する補助金として2,923万6,000円を計上しております。6目子育て支援センター費につきましては5,364万7,000円を計上しており、前年度より544万3,000円、9.2%の増となっております。主な内容につきましては、東部地区子育て支援センター「ペア・きっず」と生涯学習センターに設置して子育て広場「十符っ子」職員人件費のほか、施設の管理運営に要する経費及びファミリーサポートセンターの運営に伴う経費並びに地域子育て支援拠点事業の補助金を計上しております。また、これまでの子育て広場の運営に加え、保健福祉センターや児童クラブの施設を利用した広場の開催など、在宅で子育てを行っている保護者を支援するための取り組みを強化し、子育て家庭の不安の解消や安心して子育てできる環境づくりを進めてまいります。

70ページをお開きください。19節負担金、補助及び交付金のうち、補助金につきましては地域子育て支援拠点事業として青山すぎのこ保育園並びにアスク利府保育園内に設置している子育て広場2カ所への補助金として1,601万9,000円を計上しております。

71ページをごらんください。7目児童対策費につきましては4,672万6,000円を計上しており、前年度より1,020万4,000円、27.9%の増となっております。増額の主な内容につきましては、13節委託料に第2期子ども子育て支援事業計画策定業務を計上したほか、職員人件費の増によるものです。

72ページをお開きください。8節児童福祉施設費につきましては1億2,654万5,000円を計上しており、前年度より483万8,000円、4.0%の増となっております。増額の主な内容につきましては、利府小学校児童クラブの移設に伴う運営業務委託料の増によるものです。なお、利府二小、利府三小、しらかし台小、菅谷台小の各児童クラブにサテライトを開設することとしており、4月当初からの入所希望者につきましては全て受け入れ可能となっております。

以上が子ども支援課関係の平成31年度当初予算の概要となっております。御審議のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。2番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 2点お伺いいたします。65ページ、お願いします。3款2項1目児童福祉総務費の19節補助金のすこやか子育て支援事業でございますが、本年は10月から保育料無償化がスタートいたします。私がした一般質問では、町長の答弁で実施された場合は終了するものと考え

えるという答弁がありました。こちらは今年度どのように、31年度どのように対応するのかお伺いいたします。

2点目、69ページ、お願いします。3款2項3目保育所費19節の補助金でございますが、保育所給食利府産米導入事業ということで計上されておりますが、こちらも10月以降はどのように対応するのかお伺いいたします。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） 菅井課長。

○子ども支援課長（菅井百合子君） 鈴木委員の御質問にお答えいたします。ことし10月から消費税の増税に伴う保育料の無償化が予定されているところでございます。3歳以上児、基本的には保育所の保育料については無償化ということで今国のほうで打ち出されているところでございますので、消費税の無償化がスタートした段階ではこちらのすこやか子育て支援事業につきましては町の事業としては実施の必要がなくなるものというふうに考えているところでございます。

もう1点、利府産米導入事業についてでございますが、こちらにつきましてはこれまで利府町の子供たちに食育事業の一環として利府産のお米を給食で食べてもらうということを目的として事業として実施してまいりました。今回の保育料の無償化に伴いまして、現在国ではこれまで保育料の中に含んでいた子供たちの給食費のうち1号、2号、幼稚園の子供たち、あとは2号ですので3歳以上の子供たちの分については給食費を実費負担していただくということで現在国のほうで検討が進められているところでございます。そちらのほうの具体的な内容を今検討しているようでございますので、取り扱いについて明確に示された段階で、こちらのほうの実施の有無についても検討が必要であるというふうに現在考えているところでございます。

○委員長（鈴木忠美君） 2番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 そうするとすこやか子育て支援事業のほうは10月以降は終了するものというものは考え方は変わらないということはわかったんですけども、どうしても時期的に恩恵を受けられない方が出てくると思うんです。特に来年度の年中さんと来年度の年長さんについては無償化の恩恵が結局は3、4、5ですから3歳のときから受けている人からみたら3年間受けられるものが2年間と1年間ということになって、差が出てしまう人がどうしても出てきてしまって、負担がふえる方がいるかと思うんです。そのような部分、把握しているのかという部分をお伺いいたします。

それから利府産米のほう、無償化がスタートしてまだ検討ということでございますが、その

ような部分でも負担がふえてしまう家庭が出てくるというふうに思いますので、その分は国のほうも検討するようというふうに言っている部分ですので、方向性としては町として負担がふえないという形での対応をしていくべきというふうに思いますが、その辺、どのように考えているのかお伺いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 菅井課長。

○子ども支援課長（菅井百合子君） 鈴木委員の再質問にお答えいたします。すこやか子育て支援事業の10月の廃止に伴いまして、例えば4歳児と3歳児でそこに差が生じるのではないかと御質問かと思いますが、制度のはざまにある方についてはどうしてもその対象となる年齢によって無償化が3年間の方、あるいはもしかしたら今回の制度の中では半年間の方ということが出てくるということは承知しております。ただ、その分を何らかの形で補填するというのは非常に難しいというふうに考えておりますので、現在は国の考えている制度に準じた無償化を実施していくというふうな形で考えているところです。

それと、給食費、利府産米の分についてでございますが、国のほうでは今回給食費を実費負担するに当たりましては、これまで負担していた方々の負担がふえないようにということで軽減措置も現在検討されているところでございますので、そういったものを踏まえながら町としても検討してまいりたいというふうに考えております。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 1点、お伺いいたします。71ページの7目児童対策費の中の8節報償費、新生児誕生祝記念品、これはおむつケーキを差し上げるという今までと同じだと思いますけれども、このおむつケーキという形でお祝い品を上げているのは31年度ですと何年目になりますでしょうか。それから、単価ですけれども3,500円ぐらいと思いましたがけれども、その点の2点をお願いします。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 遠藤委員の御質問にお答え申し上げます。31年度で5年目となります。また、単価につきましては3,500円の消費税となっております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 5年目ということですがけれども、このおむつケーキですけれども、これはいつときとてもはやったもので、たしかスタートのころはデパートの赤ちゃんの用品のところにも



売っておりましたし、つい二、三年ぐらい前まではパルコの1階にも5,000円台でしたけれどもとても豪華なおむつケーキ等ありまして、いつきのブームだったと私は思っております。3,500円でおむつで形づくったケーキですけれども、要はおむつですから要はなくなってしまいうもので、一般質問でも取り上げましたけれどもぜひ形に残るようなブックスタートという制度がありますけれども、赤ちゃんに絵本を上げてほしいなというような提案をしたこともございました。おむつもその赤ちゃんによってメーカーが決まると思うんです。それからテレビなどを見ましても次々と新しい製品ができております。ですから、おむつにこだわる時代ではないのではないかと思っておりますけれども、その辺の話し合いというものはされなかったのでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 御質問にお答え申し上げます。平成27年度実施時点では実際に使用できるもの、また保護者の方の心に残るような形でお祝いするためということでおむつをデコレーションいたしましたおむつケーキをお渡しする形をとりました。今後につきましては、委員のほうから意見のほうをいただいておりますので、そちらのほうを参考にするとともに、昨年子ども子育て支援事業計画の策定に必要なアンケートのほうを実施しておりますので、そちらのほうで御意見いただいておりますので、そちらのほうではちなみにもらえて大変うれしかったという意見、また一方では見直しをとというふうな意見もいただいておりますので、参考としながら32年度以降につなげていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 今年度はこのおむつケーキでやるというお話でしたけれども、スタートする前にもう一度考えてみていただいてもいいのではないかと思いますし、これから図書館もできることですし、図書の方でも赤ちゃんの乳幼児の検診のときに読み聞かせなどにも伺っているというお話も伺いました。ですから、ぜひおむつケーキというのは少々時代おくれという気もいたしますし、とてもうれしかったというのは、例えばティッシュ1箱いただいても多分うれしいと思っておりますし、その場で皆さんに拍手させていただくということはとても喜ばしいことだとは思いますが、使い捨てるおむつという時代は終わったのではないかと思いますけれども、改めてお考えを伺います。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 昨年の一般質問でブックスタートということで

御質問のほうがあって、関係課のほうで答えをしていたということもございます。こちらのほうでは今現在はおむつケーキで実施をしたいということではございますが、今後についてはブックスタート含めて意見として誕生祝いについて選べるものがないというふうな意見等もございまして、いろいろな面から検討していきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 関連してしまうようなことなんですけれども、71ページの8節報償費で子ども子育て会議委員謝礼、昨年度は20万円だったんですけれども、今回33万3,000円になった経緯、増加した経緯、それからおむつケーキ、先ほどの話とはちょっと違う視点で伺いたいのとお聞かせ願いたいと思いますが、28、29、30、過去3年間の贈呈実績を説明していただきたいと思っております。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 小淵委員の御質問にお答え申し上げます。まず、子ども子育て会議委員謝礼でございます。こちらにつきましては平成30年度は3回開催という予定にしておりました。31年度につきましては計画策定がございまして5回開催予定となっております。そのために金額のほうは増額となっております。

新生児の誕生祝い記念品でございますが、平成28年度280個、29年が293個、平成30年度が2月末現在で243個となっております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 昨年30年度、そして31年度同額計上しておりますけれども、この見積りのはこれは過去の実績に基づいてということをやっているようですが、よろしいでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 御質問にお答え申し上げます。これまでの実績に基づきまして個数しては300個予定しております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 5番小淵委員。

○小淵洋一郎委員 過去の実績でずっと、ただ少子化という傾向の波があります。私が考えたのは、例えば母子手帳を交付したときの交付数に応じてどのぐらい必要だというのがある程度わかるのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 御質問にお答え申し上げます。母子手帳交付時

## 平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日金曜日分）

点でということになります。母子手帳のほう、取りに来る人、来ない人ということもございませう。中には本来取るべきでありますけれども取りに来ない方とかもいらっしやいます。そういったこともありますので、まずは実績に基づいた形で個数のほうは把握していきたいというふうに考えております。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑がありませんので、以上で子ども支援課予算審査を終わります。

当局は退席願います。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査箇所の選定を行います。

質疑、あるいは御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

総括質疑及び現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会します。

なお、3月11日は午前9時30分から特別委員会を開催しますので、御参集願います。

御苦労さまでした。

午後3時09分 散 会

---

上記会議の経過は、事務局長鈴木則昭が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

平成31年3月8日

委 員 長